（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　レプタチャット			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　14日	～	2026年　9月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	2026年　9月　14日	～	2026年　9月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが「楽しい」と感じながら、自然に学びや経験につながる活動を取り入れている。	ゲームや工作等、流行についても考えている。	子ども達に聞き取りを行いどんな活動がしたいか、どんなおもちゃが欲しいかを主体的に考えてもらう。
2	子どもの気持ちや意思を大切にし、無理に参加させるのではなく、安心して過ごせることを意識している。	出来ないことを責めずにできる所まで一緒に行ったり、出来ないことを担当職員に伝えられるようにし、レクとは違う部分で「できた」が感じられるようにしている。	何故嫌なのか、どうしたら良いのかを考えられる子を育てる。やらないで済まないことも出てくる（将来就労した際など）ということを理解してもらう。
3	運動や外出などの体験活動を通して、楽しみながら身体を動かしたり、さまざまな経験を積んだりできる機会を設けている。	子どもたちの興味や年齢に合わせて活動の幅を広げ、普段とは異なる環境での経験や挑戦の機会を設けようとしている。	楽しめる活動や外出先の提案

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども一人ひとりへの個別的な対応と、集団活動を両立することが難しい場面がある。	子どもの特性やその日の状態を見極めることの難しさ	職員配置や役割分担を工夫し、個別支援と集団活動の双方を充実させる。
2	日々の支援記録や事務作業に時間がかかり、支援について職員同士で話し合う時間が十分に取れないことがある。	日々の支援業務に加えて記録・書類作成などの業務が多い シフト制のため共有に難しさがある	事務作業の効率化
3	年齢や発達段階の異なる子どもが利用するため、全員が楽しめる活動設定が難しいことがある。	小学生から中高生まで、興味や発達段階、できることが異なる	年齢や発達段階を知ることが必要

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　レプタチャット

公表日　2026年　10月　31日

利用児童数　26　回収数　21

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	24%	0%	10%		半数以上の方に十分であると回答いただいています。今後も空間を活用して療育を提供させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	76%	14%	0%	10%	送迎時等、男性職員のみだと不安	男性職員もきちんとした対応を行い、距離等を十分取って支援をさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	86%	5%	0%	10%		多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきました。100%のご回答がいただけるように、引き続き努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	86%	5%	0%	10%		安心して過ごしていただけているようで良かったです。今後も安心して通っていただける空間を作って行ければと思います。
適切な支援の提供		こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	5%	0%	5%		今後とも様々な支援の方法を検討していきたいと思います。
		事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	95%	0%	0%	5%		多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきました。100%のご回答がいただけるように、引き続き努めて参ります。
		こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	以前、相談員、リハリハの合同で話し合いをした際、情報が他の職員に共有されていなかった	情報の共有の徹底に努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま	86%	5%	0%	10%		多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきました。100%のご回答がいただけるように、引き続き努めて参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%	0%	0%	5%		比較的多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきましたが、「わからない」等のご回答もいただいたので、お話しする機会を増やしたり、支援内容をもっと共有できるように努めたいと思います。
		事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	86%	14%	0%	0%		
		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	43%	19%	5%	33%		地域の子どもさんとの交流については今後も方法を模索していこうと思います。
保護者への説明等		事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		１００%のご回答を頂きました。今後とも継続して丁寧にさせていただきたいと思います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		１０１%のご回答を頂きました。今後とも継続して丁寧にさせていただきたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	86%	0%	0%	14%		ペアトレは現在実施出来ておりません。日々の中で情報提供や個々に支援内容のお話をさせていただいております。ご家族等も参加できる研修会等の情報提供は引き続き行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		100%のご回答を頂きました。これからも積極的に情報共有を行い、ご安心いただけるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95%	5%	0%	0%		・助言は難しい部分も多いですが、保護者様の悩みを聞き、一緒に考えていきたいと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・多くの保護者様に「はい」とご回答いただきましたが、「いいえ」の回答もいらっしゃることを真摯に受け止めこれからも対応させていただこうと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	57%	14%	5%	24%		茶話会や相談会は開催していますが、きょうだい向けのイベント等は開催できていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	10%	0%	0%		今後も周知するとともに保護者さまが相談しやすい関係を構築できるように努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		多くの保護者様に「はい」とご回答いただきました。今後ともご意見を真摯に受け止め、対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	95%	0%	0%	5%		当社のホームページと、アプリを活用し情報発信をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%		全ての保護者様にご安心いただけるように努めてまいります。
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	81%	14%	0%	5%		多く方にはいとご回答いただきましたが皆様に周知できるように改善してまいります。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	76%	10%	0%	14%		避難訓練等行っておりますが、その日に利用がないお子様にも訓練していただく体制を整えていきたいと考えております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%	10%	0%	5%		多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきました。100%のご回答がいただけるように、引き続き努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		多くの保護者さまに「はい」とご回答いただきました。100%のご回答がいただけるように、引き続き努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		３項目において、多くの保護者さまに「はい」とのご回答や嬉しい言葉をいただき、職員一同嬉しい限りです。 今回のアンケート結果を真摯に受け止め、より良い支援へ繋がるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	95%	5%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　レプタチャット

公表日　2026年　10月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%		子ども達の学年が上がり、身体も大きくなってきておりスペースが足りなくなってきている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	29%	71%		要介助の児童や不穏児に人手が不足していると感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	71%	29%	全体が見渡しやすい 立ち位置を工夫している	施錠ボタンの位置が低く子供でも届いてしまう 死角になる箇所がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	71%	29%		全てがオープンで一人になれるような空間がない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		状況に応じて児童が落ち着いて過ごせるように努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・業務終了時や開始前に話をして、日々の業務にあたっている	今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		今後も機会を設けて業務改善につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・運営会議等を行っている	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	・地域の方々からご意見をいただく機会がある	今後もご意見をいただいた際は、検討を行い業務改善につなげてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		研修会は全員参加で行っています。今後も必要に応じて開催していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		HUGの申込日までに保護者に配信できるよう今後も作成しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		ニーズについて職員同士で意見を出し、支援の強化を図ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%		支援会議で共有し、計画に沿った支援を意識しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・利用時の様子を記録している	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		相談を行い、チームで検討しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・日々のプログラムの記録を残している	今後もプログラムが固定化しないように努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		今後も継続していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	必要に応じてできている	その都度共有できているので今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的に行っている	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		プログラムにも入れ込み、自分で選択できる機会を増やします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		今後も継続して参画していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		今後も連携して支援してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%		今後も継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	86%	14%		今後も連携を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%		地域の子どもとの交流は行えていません。今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%		担当職員が参加しているが周知や情報共有にはつながっていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	43%		家族支援プログラムは行っていませんが、研修会の案内等は必要に応じて行っています。今後も継続していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		今後も継続して丁寧な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%		今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	夏祭り等の保護者参加型のイベントの開催	保護者同士の交流
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		定期的にHPを更新し、情報発信を積極的に行っています。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個別ファイル等、鍵のかかる書庫に保管している	今後も十分に留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		今後も継続して研修や訓練を行ってまりま す。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時の聞き取りと、適時保護者さまから情報共有をしている	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	適時対応しています	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	86%	14%		周知が課題となっているので今後検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットを記録し、検討している	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		今後も研修や委員会を継続して行います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		今後も継続していきます。